参考資料５
調査項目（個別ヒアリング：労働市場・教育関係者）

ヒアリング項目

１．就職先の選定等について

質問	回答	備考
（１）就職先の選定・推奨の際のポイント		
・現在の労働市場において、就職先を選定する際に評価・重視されている項目についてご教示ください。 ・学生本人は、何を評価・重視して、就職先を選定されていると考えられますか。 ・教育関係者という立場から、学生に就職先を推奨する際に重視している項目があれば教えてください。 例：給与／休暇／キャリアパス／社風／保護者の意見　など ・選定や推奨の判断に当たって、どのような情報を把握・収集していますか。 ・その際、どのような手法やツールを用いていますか。どのくらい時間やコストを要していますか。 ・情報の把握や収集にあたって課題などはありますか。		
（２）建設業における取組状況		
・建設業界においては、業界ＰＲをはじめ入職促進の取組を行っているところですが、（１）の回答に照らして、率直な受け止めや評価についてお聞かせください。 ・個々の建設企業における採用活動などの取組状況について、率直な受け止めや評価についてお聞かせください。		

（３）労働市場から選ばれるための取組		
・労働市場から選ばれる建設業の実現に向けて、効果的な入職促進策などがあれば、お聞かせください。 ・労働市場から選ばれる建設企業の実現に向けて、効果的な入職促進策などがあれば、お聞かせください。		

２．労働市場やリクルートの観点から見た現行の企業評価制度について

質問	回答	備考
（１）元請企業を評価する現行の仕組み（経営事項審査）について		
建設業法に基づき公共工事の元請企業の経営状況、技術力、社会性などを評価する「経営事項審査」という仕組みがあります。この制度では、主に以下の項目を審査しています。 ① 経営規模（完成工事高など） ② 経営状況（財務健全性など） ③ 技術力（技術者の数など） ④ 社会性等（担い手確保の取組や防災活動への貢献など） ■認知度や活用の有無 ・「経営事項審査」について、労働市場や教育関係者の間ではどの程度認知されているとお考えでしょうか。 ・この制度は、公共発注者が工事を発注する際の格付けに使用することを目的とした制度になりますが、労働市場やリクルートにおいて、活用しているケースはありますか。 ・現状活用していない場合、今後、活用することが想定されますか。		

（２）見える化評価制度		
専門工事企業の施工能力などを評価し、★の 4 段階で見える化し、下請契約の相手方の選定や専門工事企業における人材確保などに活用する「専門工事企業の施工能力等の見える化評価制度」という仕組みがあります ■認知度や活用状況 ・「専門工事企業の施工能力等の見える化評価制度」についてご存知でしたか。 ■制度へのニーズや関心 ・労働市場やリクルートの観点から、このような専門工事企業を評価する仕組みについて、活用のニーズや関心がありますか。 ・ニーズや関心がある場合、どのような目的や場面で利用されることが考えられますか。 ■活用に向けた課題 ・労働市場やリクルートの観点から、見える化制度が広く利用されるようにするためには、どのような取組や措置が有効と考えられますか。		

３．建設企業に対する評価について

質問	回答	備考
（１）業態（元請／専門工事）を限定しない横断的な評価について		
・現行の評価制度は、経営事項審査は公共工事の元請企業を対象とするなど、業態ごとに構築されていますが（建設業許可を除く）、仮に、「業態（元請／専門工事）を限定しない横断的な評価の仕組み」がある場合、労働市場やリクルートの観点から、活用のニーズがあります		

か。 ・ニーズがある場合、どのような目的や場面で利用されることが考えられますか。		
（２）ニーズや関心のある項目とその理由や使途		
・仮に、建設企業について、以下のような項目について公的に評価する仕組みが創設された場合、労働市場やリクルートの観点から、活用のニーズはありますか。ニーズがある場合、どのような理由や使途が想定されますか。 ①賃金の水準や制度 ② 経営能力 ③ 雇用している人材（技能者・技術者）の数やレベル ④ 人材育成（育成方針の有無や教育訓練の実施状況など） ⑤ ＤＸ推進（DX 投資や ICT の活用状況など） ⑥ 成長性		
（３）評価制度の活用促進		
・仮に、上記のような評価制度を設けるとした場合、労働市場やリクルートの観点から広く使われる（参照される）ためには、どのような措置が必要と考えますか。 例：評価を受けた企業が一覧できる仕組み／制度的な位置づけ／建設業関連制度との連携／インセンティヴ　　など		

４．その他

質問	回答	備考
■その他 ・評価制度全般に関するご意見があればご回答ください。		